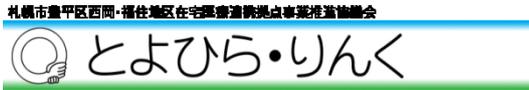


とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局



第 3 回りんく塾の様子



第 3 回「りんく塾」を開催しました。

平成 29 年 11 月 27 日（月）18：30～20：00（豊平区民センター）

平成 29 年度、第 3 回「りんく塾」を開催いたしました。

医療・介護関係者等、53 名が参加されました。

公益財団法人在宅医療助成
勇美記念財団 助成による

札幌圏における地域医療構想の考え方と協議の進め方

五十嵐 知文 会長（西岡病院 副院長）

先日（11/14 開催）の「地域医療構想シンポジウム」の開催報告を行いました。

全道各地と違い札幌圏の人口減少は微減で、その中で地域医療構想の枠組みの中では、これから増える役割として、「回復期機能」（例：回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟・病床）をどのようにするかが一つの焦点となります。

しかしながら、各医療機関が現状どのような医療機能で、今後どのような病院機能を担うかを共有しなければ、次の議論も進まないと考えられます。

今回は、北海道保健福祉部、北海道医師会、札幌市医師会、豊平区の 9 医療機関の理事長・院長の方々と下記を主なテーマとしてシンポジウムを開催しました。

- 北海道地域医療構想についての質問、意見
- 各医療機関の現状の機能と将来の考えうる機能について
- 札幌圏、特に豊平区の病床連携や地域医療構想への対応について

北海道保健福祉部、北海道医師会、札幌市医師会豊平区支部からも今回のような自主的な取り組みについて、可能な限りご支援いただける旨のお話を頂き、今後も継続して議論を行っていくことを確認しました。



とよひら・りんく

五十嵐 知文 会長

《11/14 地域医療構想シンポジウム NewsLetter》

http://www.toyohiralink.jp/pdf/NewsLetter_20171127.pdf#zoom=100

《11/24 付 北海道医療新聞にも取り上げていただきました》参照：右写真

http://www.toyohiralink.jp/pdf/media_20171124.pdf#zoom=100

《参考 北海道地域医療構想ホームページ》

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/iryokeikaku/chiikiiryokousou.htm>

【アンケート】一部

- ・シンポジウムの内容がまとまっていたと思います（医療機関・医師）
- ・現実な問題としてとらえることができました（医療機関・看護師）
- ・今後の地域医療の変化について勉強になりました（調剤薬局・薬剤師）
- ・統計などが参考になりました（地域包括支援センター・社会福祉士）
- ・豊平区の中で今後も議論を進めて欲しいです（介護施設・介護職）



11/24 付 北海道医療新聞から

ACP 導入研修開催事例

シルバーハイツ羊ヶ丘 1.2 番館
施設長 川中 誉代 氏

今年度取り組んでいるACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及に向けた施設内研修の事例として、有料老人ホーム「シルバーハイツ羊ヶ丘 1.2 番館」の川中施設長に「入居者向け」「職員向け」の2つの研修会の様子を報告していただきました。

【アンケート】（一部）

- ・施設での研修会に参加された方の感想が聞けて参考になりました（医療機関・医師）
- ・シルバーハイツさんの取り組みと職員の気持ちが伝わりました（医療機関・医師）
- ・施設内で、全職員が取り組んでいることが参考になりました（医療機関・看護師）
- ・実際に施設などで研修会を開催することが大切だと思いました（調剤薬局・薬剤師）
- ・自分の職場でも取り組みたいと思いました（調剤薬局・薬剤師）



シルバーハイツ羊ヶ丘 1.2 番館
川中 誉代 施設長

ACP 導入研修(応用編①)

ACP 導入編の第2弾として、応用編①を行いました。代理決定者などのついでに理解を深め、相談役・患者役・家族役・観察役に分かれ、ロールプレイを行いました。研修資料はホームページに公開しています。

【アンケート】（一部）

- ・ロールプレイが良かった。実際のACPの難しさを感じました（医療機関・医師）
- ・ロールプレイで相談を受けるときの姿勢など振り返ることができました（医療機関・看護師）
- ・ロールプレイを行ってそれぞれの立場で考えることができました（地域包括支援センター・社会福祉士）



札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会

とよひら・りんく

Home ごあいさつ 事業案内 活動報告 広報誌 療養支援 リンク

とよひら・りんく

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会(通称「とよひら・りんく」)は、札幌市豊平区西岡・福住地区において、地域の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、介護士などによる包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すとともに、今後の在宅医療の発展に貢献することを目的に設立されました。

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出
2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援
3. 効率的な医療提供のための多職種連携
4. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
5. 在宅医療に従事する人材育成

主治医意見書開示
ご自宅でご家族を看取られる方へ
人生の最終段階における医療
ACP相談シート
ACP導入研修

ACP 導入研修会の資料をホームページに公開しています。

当会ホームページ (<http://www.toyohiralink.jp/>)→療養支援ページ(左側参照)に「りんく塾」で使用した研修資料を公開しています。各医療機関、施設、事業所の状況に合わせ、各機関で取り組んでいただければと思います。

研修資料内容などのお問合せは下記事務局までお問い合わせください。

合同会議・りんく塾 年間スケジュール(予定)

2018年1月29日(月) 第4回りんく塾 実践報告「意思決定に関わる情報共有の在り方」

3月26日(月) 合同会議

とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・田附・横田 ホームページ: <http://www.toyohiralink.jp/>

電話 011-853-8322(平日 9-17時) メールアドレス: info@toyohiralink.jp